

Q 前橋市の令和6年度決算を家計簿にしてみると、どうなりますか？

A 市税などを年収500万円とした場合、次のようになります。

収 入					
令和6年度一般会計決算(年額)		家計にたとえた場合(年額)		割合	
自主財源	市税など	711億2,111万円	年収	500万円	44.6%
	基金取崩	38億112万円	預金引き出し	27万円	2.4%
依存財源	国・県支出金、交付税など	748億1,111万円	親からの援助	526万円	47.0%
	市債	95億420万円	ローン借入れ	67万円	6.0%
合 計		1,592億3,754万円	合 計	1,120万円	

支 出					
令和6年度一般会計決算(年額)		家計にたとえた場合(年額)		割合	
義務的経費	人件費	229億2,634万円	食費、通信・交通費など	161万円	14.8%
	扶助費	431億9,728万円	医療費・保険料など	304万円	27.9%
	公債費	150億2,629万円	ローン返済	106万円	9.7%
物件費		221億1,978万円	光熱費、被服費など	156万円	14.3%
投資的経費・維持補修費		197億8,384万円	自宅修繕・車購入など	139万円	12.8%
補助費等		120億377万円	クラブ活動費など	85万円	7.8%
繰出金		126億5,937万円	子どもへの仕送り	89万円	8.1%
積立金・投資及び出資金・貸付金		70億9,040万円	貯金	50万円	4.6%
合 計		1,548億707万円	合 計	1,090万円	

繰越金					
令和6年度一般会計決算(年額)		家計にたとえた場合(年額)		割合	
繰越明許費及び事故繰越し繰越額		8億6,122万円	カード引去確定額	5万円	19.4%
財政調整基金等積立		20億円	貯金	14万円	45.2%
翌年度予算への繰越		15億6,924万円	財布残金	11万円	35.4%
合 計		44億3,047万円	合 計	30万円	

- 収入では、自主財源である「年収・預金引き出し」が47.0%に対し、国・県支出金等である「親からの援助」が47.0%も占めました。これは、国の仕事を市が代わって行っているものなどがあるからです。
- 支出では、「医療費・保険料など」が昨年度から増加し、27.9%を占めました。
- 繰越金については、借金返済や経済状況の変化に備えて、45.2%を貯金しました。

※この家計簿は、令和6年度一般会計決算をベースに、自主財源である市税など（711億2,111万円）を年収500万円として、これを基準に各費目を一般家庭の項目に置き換えたものです。

※数字は、集計の都合上、端数整理をしています。